

オルガン・ロフトの 青年

ある 冬の 日の よる 夜のことです。アフリカから もどってきた 有名な 宣教師 ロバート・モファット博士が、説教するために 小さな スコットランドの 教会に 到着しました。



こんばんは、モファット博士！
おいでいただけて、本当に うれしいです。
みんなが お待ちですよ。



博士の アフリカみやげ話を 聞けば、
ご婦人方は 大喜びするでしょう。



牧師様。わたしが ここに 来たのは、宣教師として
アフリカに 行くように、男性方に
よ 呼びかけるためなのですが！



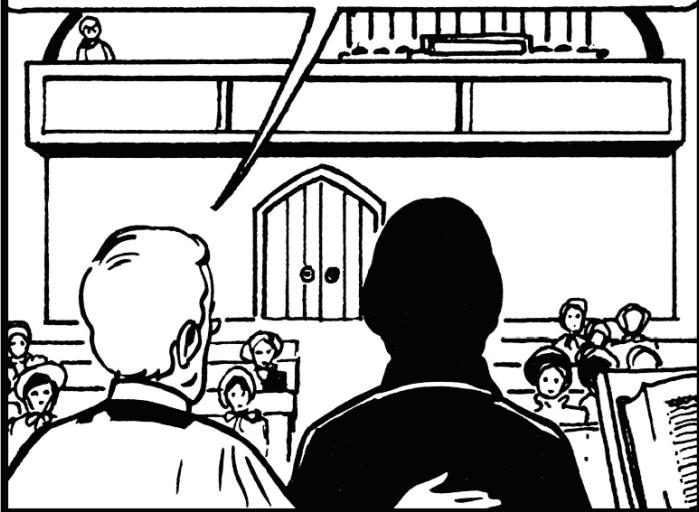
それは まこと おき どく
誠に お気の毒ですが、
今夜 お見えに なっているのは、
ご婦人方だけなのですよ。

ひとり
一人だけ、ロフトで オルガンに
空気を 送る 係を している
青年なら、いますがね。



ご婦人の みな様方！ ロンドン宣教協会の
有名な モファット博士を ご紹介します。

エヘン、箴言8章4節には、こう 書かれています。
「人々よ、わたしは あなたがたに 呼ばわり、
声を あげて 人の 子らを 呼ぶ。」
(口語訳聖書、箴言 8:4)



これは バカげている！
もっと ふさわしい 内容の
説教に 変えないと。

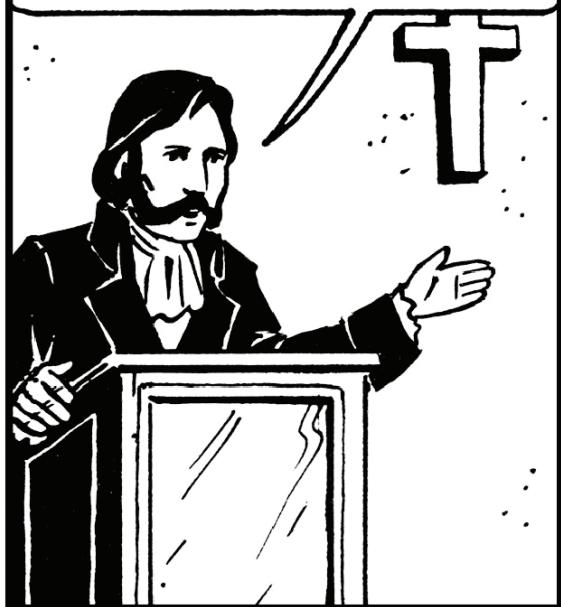


ま
待てよ。なぜか、予定通りの
話を することを、神が
のぞ
望んでおられるよう
き
気が するぞ。

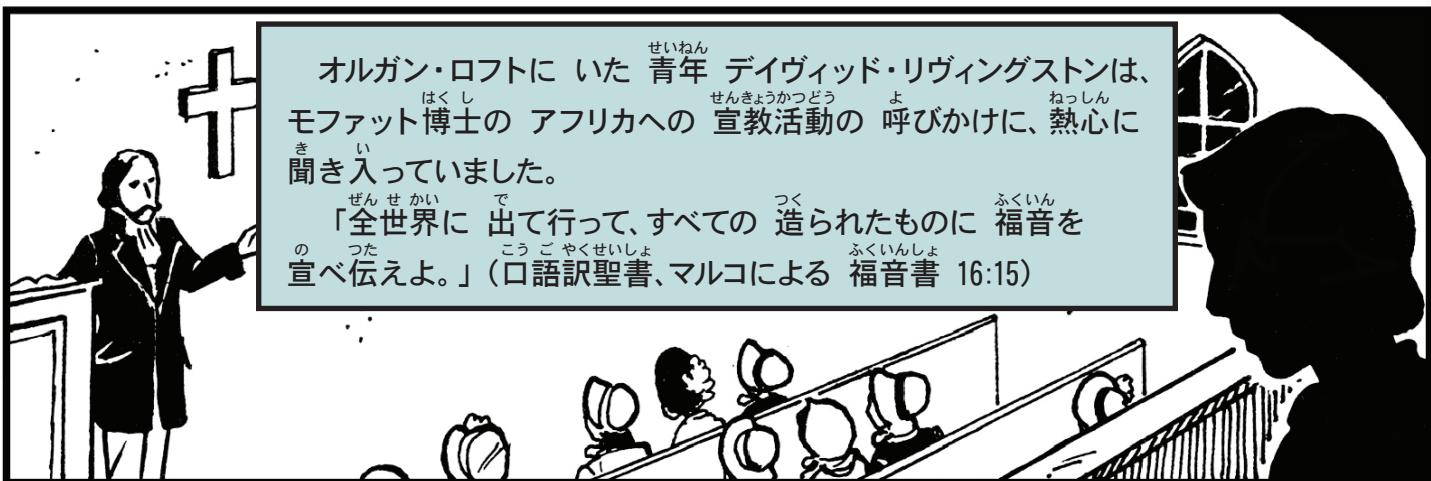


とも 友の 方々よ、わたしは つい
さいきん 最近、暗黒大陸の アフリカから
あんこくたいりく もどって来ました。

アフリカが 暗黒なのは、だれも
ふくいん 福音という 光を 見たことが
ひかり み
ないためです。



オルガン・ロフトに いた 青年 デイヴィッド・リヴィングストンは、
モファット博士の アフリカへの 宣教活動の 呼びかけに、熱心に
聞き入っていました。
「全世界に 出で行って、すべての 造られたものに 福音を
宣べ伝えよ。」(口語訳聖書、マルコによる 福音書 16:15)



それまでの デイヴィッド・リヴィングストンの 生い立ち:

デイヴィッド・リヴィングストンは、1813年3月19日、スコットランドの 小さな 村 ブランタイアで生まれました。家庭が 貧しかったため、デイヴィッドは 10才の 時に 学校を やめて、紡織工場(綿花から糸を作る 工場)で 働き始めました。

デイヴィッド、こんなに 少ない 賃金で
毎日 14時間も 働かなくちゃ
いけないなんて、不公平だよな。



一生、紡績工場で どれいみたいに
働きたいってのか、デイヴィッド?



でも、せめて ぼくたちは、うえてる わけじゃ ないからね、トム。

いいや。大学に 行って、弁護士か
お医者さんに なりたいんだ。

ハハ! お前、夢でも 見てんのか。
こんな 工場で 働きながら
勉強する 時間なんて、ないだろ?



神様が 助けてくだされば
できるよ、トム!



試してみるまでは、自分に 何ができるかなんて、分からぬだろ。



最初の 週に もらった 賃金で、デイヴィッド・
リヴィングストンは 教科書を 買いました。

何年もの間、デイヴィッドは よる 夜の 8時に 仕事を
終えた 後、10時まで 夜間学校に 通いました。

「ラテン語の 基礎」だね。
6ペンスだよ。



いえ かえ あと しんや じ
そして、家に 帰った 後も、深夜の 12時まで
勉強しました。時には、もっと おそらくまで
勉強していることさえ ありました…



かあ ちゅうい
…そして、お母さんに 注意されたものです。

デイヴィッド、もう ねなさい。
あす じ こうじょう
明日も、6時から 工場で
しごと 仕事なのよ。



かあ はい、お母さん。

りょうしん しんじんぶか
デイヴィッド・リヴィングストンの 兩親は 信心深い クリストチャンだったので、デイヴィッドが
勉強ばかりで 聖書を おろそかに することが ないように、気を 配りました。

きみ すく ぬし さま
デイヴィッドと トム。そろそろ
君たちも、救い主として、イエス様を
し とき おも 知るべき 時だと 思う。

はい、ぼくは 救い主として、
イエス様を 受け入れたいです。



ほん しゅうきょう
デイヴィッド、本や 宗教で
じかん むだ 時間を 無駄に するなよ！



じつ い
実を 言うと、ぼく、
ぼくし せつきょうし
牧師さんのような 説教師に
なりたいんです！

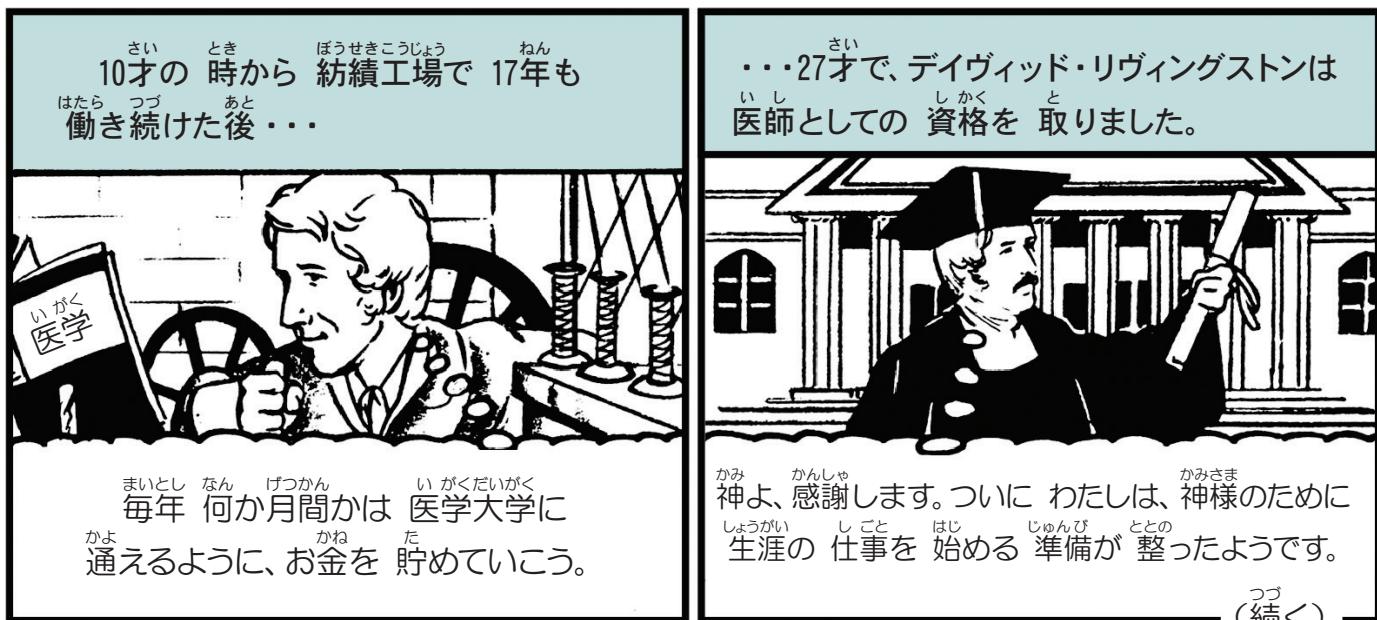
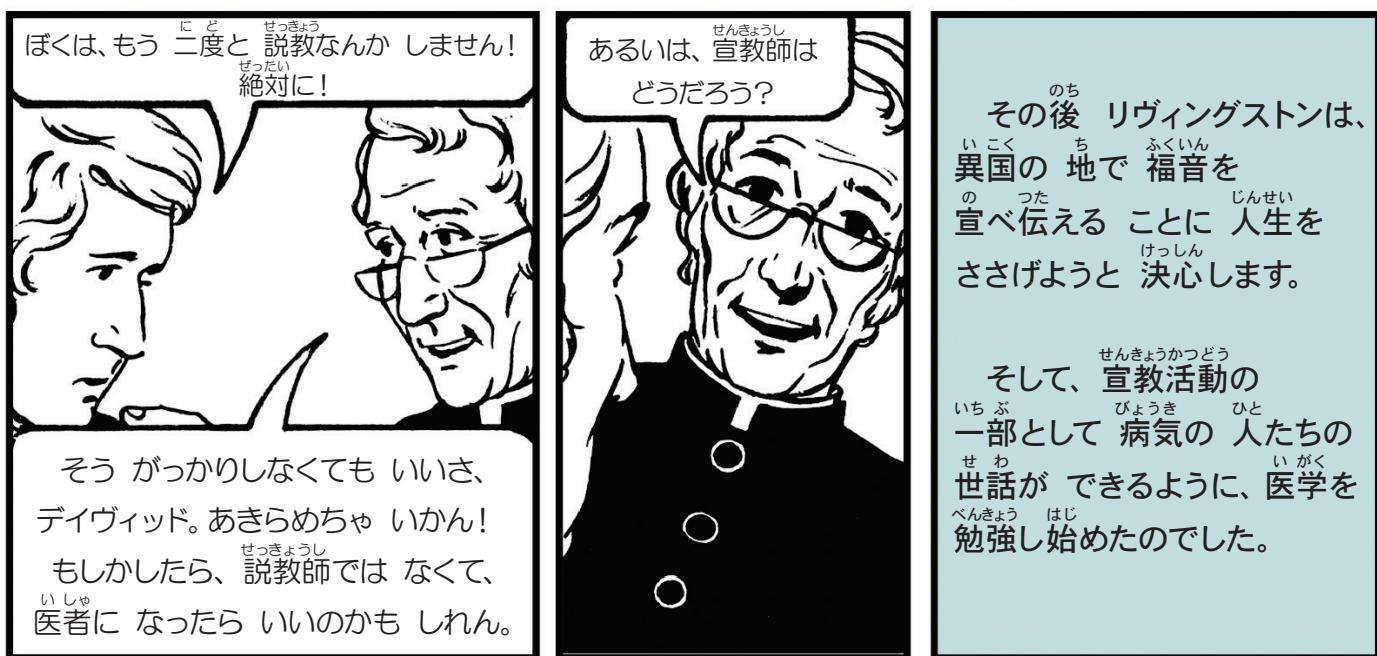
かんけい
ぼくには 関係ないな！
じぶん じんせい
自分の 人生を、もっと
こと つか いい事に 使うよ。



トム！
おまえは 自分の 道を
い 行けば いいさ。ぼくは
ぼくの 道を 行くよ、
デイヴィッド！



というわけで、デイヴィッド・リヴィングストンは 説教師に なる 決心を しました。けれども、最初の 試みは 失敗に 終わりました。



文:サイモン・ピーターソンとデービッド・B・バーグ 絵:イーマンとジェレミー デザイン:クリスティア・コープランド

出版:マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2012年、ファミリーインターナショナル

"David Livingstone, Part 1"--Japanese

<http://www.mywonderstudio.com/level-1/2012/6/28/david-livingstone-part-1-the-young-man-in-the-organ-loft.html>

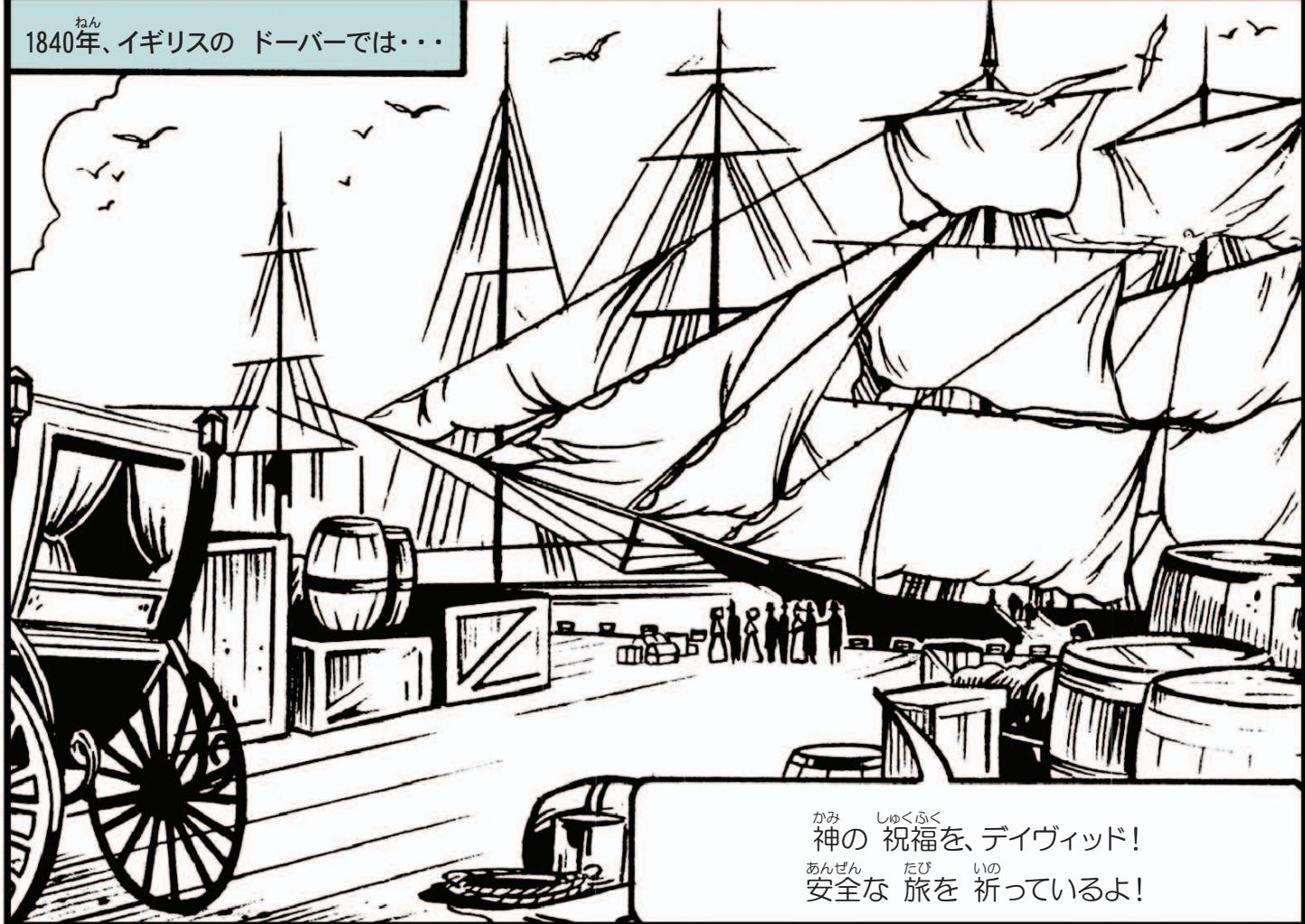
(続く)

デイヴィッド・リヴィングストン物語

だい 第2部

オルガン・ロフトの 青年

1840年、イギリスの ドーバーでは…



かみ 神の 祝福を、デイヴィッド！
あんせん 安全な 旅を 祈っているよ！

ひとくじんしゅ くびかそく きけん
人食い人種やら 首狩り族やら、危険には、
くれぐれも 気を つけろよ。

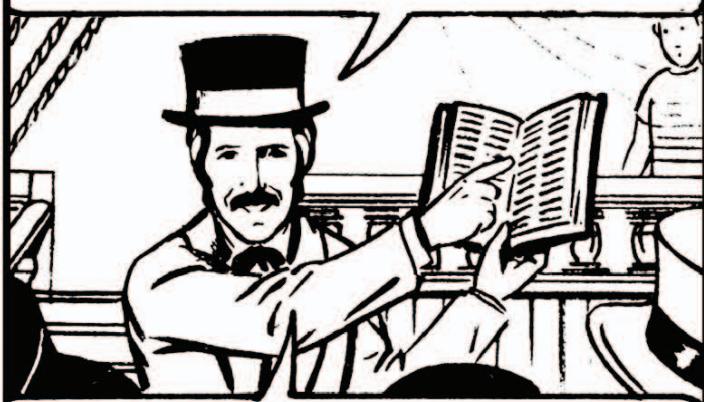


みなさん、気にかけてくれて、ありがとう。だが、
マタイの書に イエスが 最後に 言われた 言葉が
あるのに、どうして おそれていられましょうか。



わるいことは 言わん。お願いだから、行くのは
やめて、イギリスに 留まってくれ。

「わたしは 世の 終わりまで、いつも
あなたがたと 共に いるのである。」
(口語訳聖書、マタイによる 福音書 28:20)



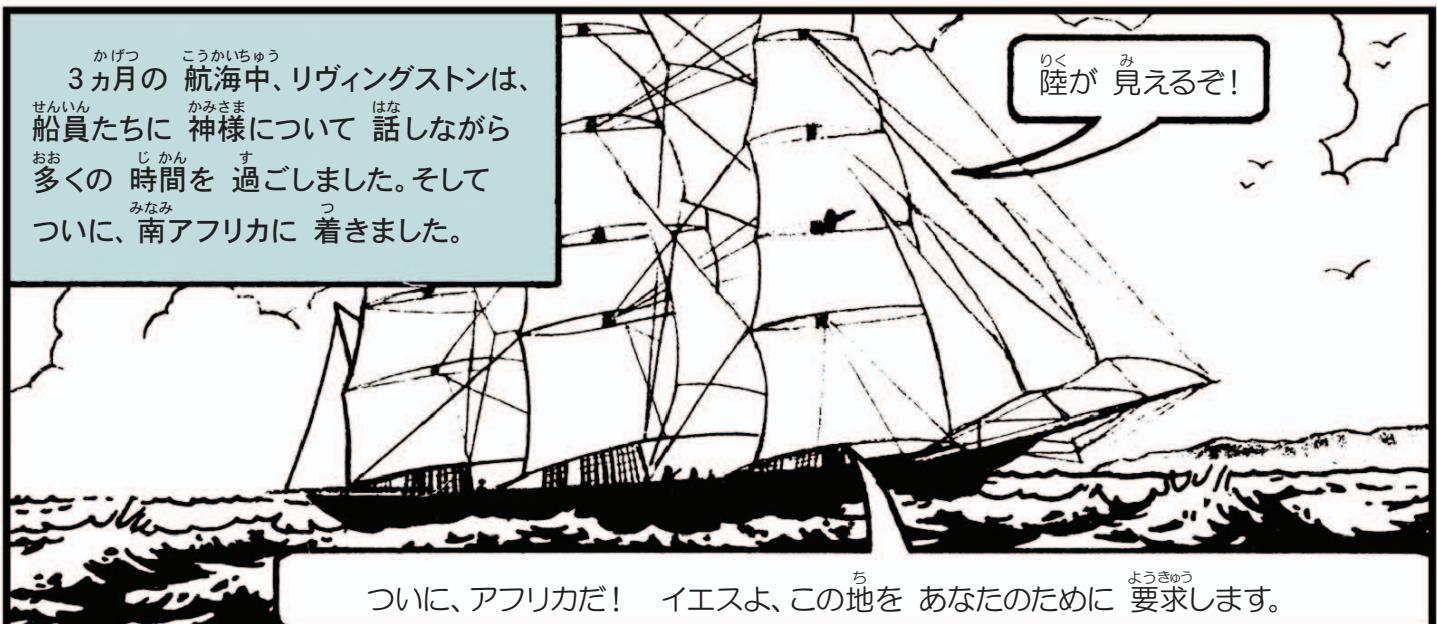
みなさん、それは 神の 言葉です。決して、
破られることの あり得ない 約束なのです。

ですから、おそれるものなど
ありますか？ さあ、行こう。



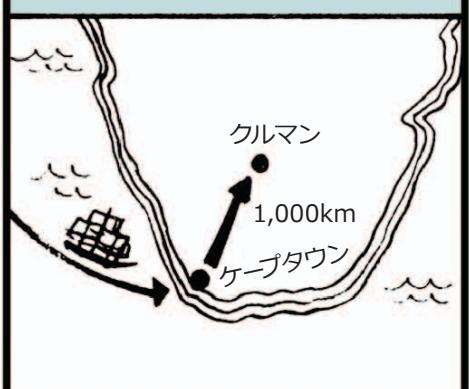
かくして、デイヴィッド・リヴィングストンは 出航したのです。

3ヶ月の 航海中、リヴィングストンは、
船員たちに 神様について 話しながら
多くの 時間を 過ごしました。そして
ついに、南アフリカに 着きました。



ついに、アフリカだ！ イエスよ、この地を あなたのために 要求します。

リヴィングストンは
ケープタウンに 上陸し、その後、
モファット博士の 運営している
宣教拠点の クルマンまで、
牛車で 1,000キロ以上もの
距離を 旅したのでした。



クルマンで、リヴィングストンは 福音を 宣べ伝え、
病人の 治療を し、現地の 言語を 学びました。



ブワナ(先生)、
いい 医者。
まじない師より いい！

君たちの 言葉で、「イエスは 最高の 医者」は、
どう 言うんだい？

まもなく リヴィングストンは、今までに 1度も イエスのことを 聞いたことが ない 原住民の いる、
もっと 北の 奥地へ 行くように 神が 召しておられると 感じるようになります。

デイヴィッド、ここから 先は、白人が 1度も 足を ふみ入れたことの ない 土地だ。
マタベレ族や バクウェナ族なんかの、荒々しい 野蛮な 部族が 住んでいる。



1ヨシュア記 1:3

神の 祝福が あるように、デイヴィッド。君が 足を ふみ入れる 土地は、
すべて 君のものに なると 神が 約束されたことを、忘れては いけないよ。¹

リヴィングストンは、旅を しながら 熱心に 地図を作り、岩や 岩や 丘や 木々や 動物など、
自分の 見た あらゆるもの 記録しました。





わたしは、バクウェナ族の
酋長、セクレだ。おまえは 神か?



いいえ、神から おく 送られてきた
もの 者です。あなたや 部族の
みなさんには、神からの
メッセージを 持ってきました。



それは、ここに 書かれています。
わたしが 読んで差し上げましょう。



やがて…

神は あなたがたを 愛しておられ、あなたがたが 天国に
行けるように、ご自分の 息子を おく 送って、あなたがたの
代わりに 死なせられたのです。それを 伝えるために、
神は わたしを ここに おく 送られたのです！



それを 信じない ひと どうなる？



そうですね、天国へ 行けませんね。

では なぜ、今まで この話を 教えに
来なかった？ それは よくない！



愛する イエスよ、酋長に 分かってもらうためには、
言葉以上の ものが 必要です。あなたの
愛と 力の 現れを 見る 必要が あります。





むち? なんのためですか?

わたしの 部族民、
むち打たなければ、
何も しない。

ま 待ってください、セクレ!
平和の 福音は、暴力で 教える
ものでは ありません。まず
わたしに はな 話させてください。



かつては、もう 2度と ひとまえ 人前では
せきょう 説教するまいと おも 思っていた
デイヴィッド・リヴィングストン
でしたが、聖靈の 力に 塗油されて、
バクウェナ族 全員の 前で、
イエスを 信じることについて
はな 話したのです。

イエスについて、もっと 知りたい ひと 人は?



つか むちを 使わないで わたしの 部族民に
きょうみ も 興味を 持たせるなんて…



… なん つよ かみ 強い 神なんだ!

ねん 1842年、デイヴィッド・リヴィングストンは、
はくじん まち とお あらあら
白人のいる 町から 遠く はなれ、荒々しく
やばん ぶぞく かこ
野蛮な 部族に 囲まれた、マボツアの
ぞく むら さいしょ せんきょうきよてん
バクウェナ族の 村に、最初の 宣教拠点を
ひら かれ あい
開きました。リヴィングストンは 彼らを 愛し、
おも かれ あい
思いやっていたので、彼らも リヴィングストンを
あい しんらい
愛し、信頼するように なりました。
せんきょうし す
宣教師として アフリカで 過ごした 30年間に、
リヴィングストンは なんぜんにん ひとびと
おし ひとびと
イエスのことを 教えたのでした。

マボツアで 2年 暮らした後、デイヴィッド・リヴィングストンは、メアリー・モファットと 結婚しました。メアリーは、最初に リヴィングストンを アフリカへ 行くことを 奮い立たせた 有名な 宣教師、モファット博士の 娘です。

1847年、二人は、マボツアから 120キロほど 北に
行った コロベングという 所に、新しい 宣教拠点を
築きました。



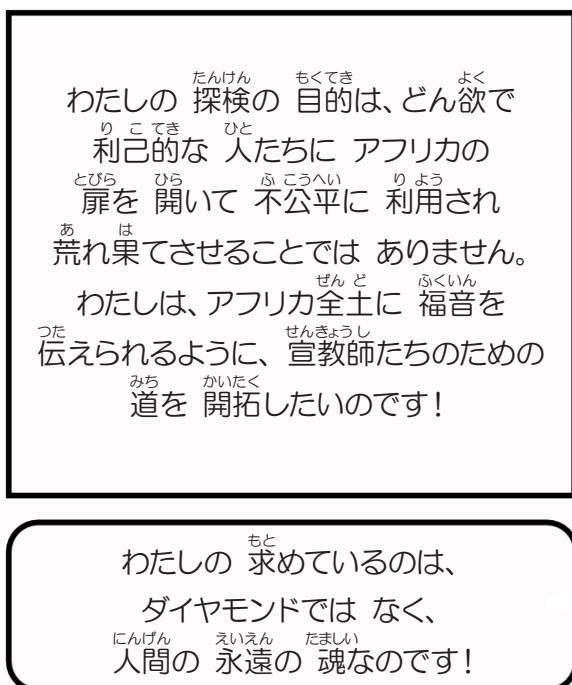
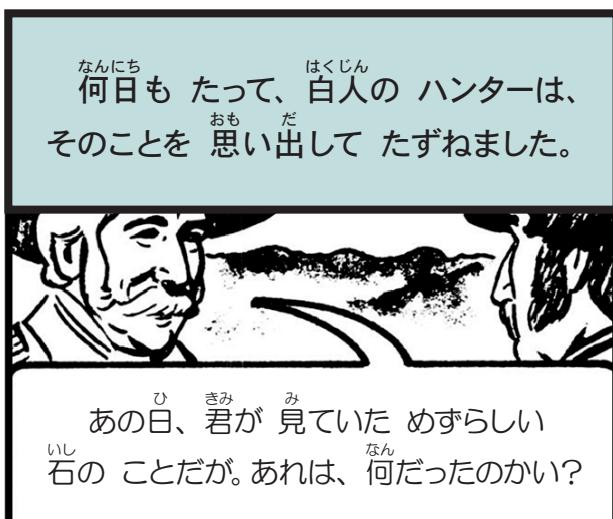
リヴィングストンと メアリーの 間には、6人の
子供が いました。子供達は、父親と いっしょに
宣教の 旅に 出かけることも ありました。



二人は 幸せな 結婚生活を 送りました。リヴィングストンには 生真面目な 面が ある 一方、すぐれた
ユーモアの センスも 持ち合わせていて、いつでも、彼の 言うところの 「歡樂と 遊び」を 楽しむことが
できたからです。



リヴィングストンは、数多くの旅の間も、自分がアフリカにいる最大の理由は、福音を宣べ伝え、またほかの人たちが彼の後に続けるようにするためだということを、決して忘れませんでした。ある時、彼は自分の気持ちを、短期間アフリカ横断旅行に同行したハンターに、こう話しました。



ものかたり デイヴィッド・リヴィングストン物語

だい 第3部 ぶ

かみ 神の 探検家 たんけん か

1856年、16年間 アフリカの ジャングルで暮らした ディヴィッド・リヴィングストンは、イギリスに 短期間 もどってきました。そして 彼の おどろいたことに、彼は國家の 英雄として もてなされたのです。

お帰りなさい、
リヴィングストン博士！
イギリスの 有名人と なった
お気持ちは、いかがでしょうか？



わたしは、単なる 神の
しもべに 過ぎません。
神の み手の 導きに
従っているだけなのです。

リヴィングストンは、イギリス中から 数々の 勲章や メダルを授与されました。

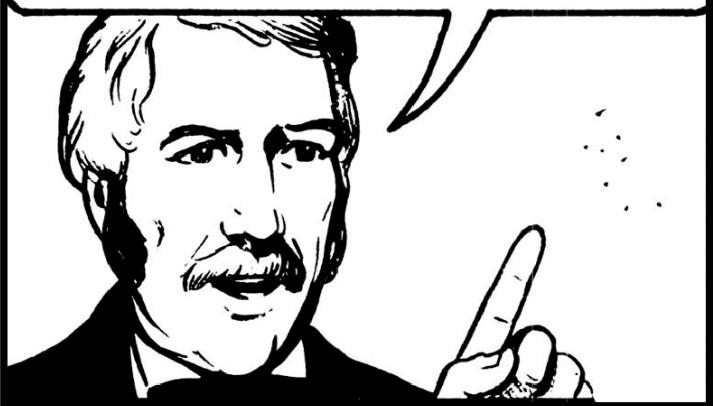
リヴィングストン博士、アフリカに おける 宣教師としてのあなたの 大いなる 働きに 敬意を 表し、また あなたがはらった 大きな 犠牲を たたえて、これを 授与します！

犠牲ですか？ ハハ！

紳士淑女の みな様方、わたしは 今までに 犠牲を
はらったことは ありません！ わたしが どんなに
多くの ものを 手放しても、神は いつも はるかに
多くの ものを 収め返してくださいからです。



わたしたちには、神に 対して 決して
返すことの できない 大きな 借りが あるのに、
その ほんの 一部を 収め返したからと いって、
それを 犠牲と 呼べるでしょうか？



犠牲ですか？ そのような ものは、ありません！
それは むしろ、特権なのです！



思いわずらいや 病気、難儀や 危険は、わたしたちの
気持ちを 動搖させ、しづませることも あります
それは つかの間のことだけに しましょう！
こういったことは すべて、やがて わたしたちの 内に、
また わたしたちのために 現されようとしている 荣光に
比べるなら、全く 無きに 等しいからです！²

(² ローマへの手紙 8:18)



犠牲ですか？ わたしたちのために 命を
捨てるため、天にある ご自分の 父の み座を
去られた 時に イエスが はらってくださいました
大きな 犠牲を 思い出すなら、そのような 言葉は
口に 出すべきでは ありません！



紳士淑女の みなさん、わたしは、今までに
犠牲を はらったことなど、ないです！



イギリス滞在中に リヴィングストンが した 演説や
書いた ものは、ほかの 大勢の 宣教師たちを、宣教の
煙へ 行くようにと かり立てました。

1858年に、リヴィングストンは再びアフリカへ
もどりました。次の11年間、彼は探検しながら
福音を宣べ伝え続けました。1871年までの4年間は、
イギリスで彼から便りを受け取った人はだれも
いませんでした。

かれ 彼はおそらく、マラリアで死んだのだろう。

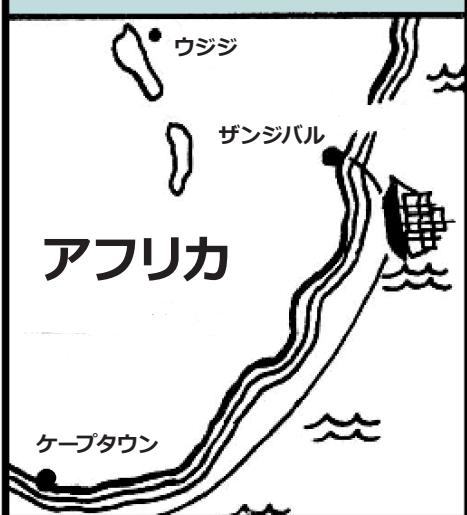


それとも、野蛮人に殺されたのかもな。



かれ 彼に何が
お起こったのかを
しら調べるため、
ウェールズの
ヘンリー・モートン・
スタンリーという
きしゃ記者が、アメリカの
しんぶんしゃ新聞社によって
おく送られました。

スタンリーは、アフリカの東海岸の
ザンジバルから搜索を始めました。



主があなたと共に
行かれるように、スタンリー！

ありがとうございます。ですが、
わたしはリヴィングストン博士とは
ちがって、クリスチャンでは
ありません。

なんかげつ
何ヶ月もたったころ、スタンリーは
アフリカ原住民から、年配の病気の
ヨーロッパ人がウジジにいるという
うわさを耳にしました。



スタンリーは、ついにリヴィングストンをみつけたのです。



スタンリーは、原住民の中に年配の白人の
顔を見つけました。その人は、金色のバンドが
巻いてあるぼうしをかぶり、赤い毛布用の布で
できた短い上着を着ていました。

スタンリーは、リヴィングストンに
あいさつしました。



それは、歴史上でも有名な、
アフリカ大陸での出会いでした。

スタンリーは、4ヶ月 滞在しました。

わたしの 最も 忠実な しもべ、
スシと チュマです。



一体 彼は、どうやって こんな 所で 生きて
いけるのだろう? 気は 確かなんだろうか?

わたしは、「すべてを 捨てて、
わたしに 従つべきなさい」と
書かれている 聖書の 言葉を
実行している この 孤独な 老人に、自分が
いることに 気が ついた。彼の 愛、やさしさ、
ユーモア、そして 仕事に 取りかかる 時の 熱意、良い
ただただ 驚くばかりであった。彼の 愛と あわれみは、
すぐに 周りの 人にも 広がってしまうことを、わたしは
みと 認めざるを得ない。



そして、ある夜のこと…



先生、アフリカに 来た 時、
わたしは 無神論者でした。

ですが 先生の 生き方を 見て、
わたしは 変わりました。



スタンリーが イギリスに 帰る 時が 来ました。



ご自身の 健康のためです、先生。お願いですから、
わたしと いっしょに、イギリスへ もどってください!

もどる?

わたしは、
どこへでも 行くよ。
前進するためならね!



スタンリーは、アフリカを さらに 探検するために、
数年後には もどって来ています。

スタンリーが去った数日後に、
リヴィングストンは日記にこう記しました。

3月19日。わたしの誕生日だ！わたしの王であり、
わたしの命であり、わたしのすべてであるイエスよ！
わたしは再び、わたし自身のすべてをあなたに
ささげます！恵み深き父よ、この1年が過ぎ去る
前に、あなたのための仕事を終えられますように！
イエスの名で祈ります。アーメン！

リヴィングストンは、そのわずか1年後に、
イエスの元へ行つたのでした。

最後の1年間に、リヴィングストンは今一度、最後の旅に出ました。病気で絶えず痛みに悩まされながら、しばしばすわることさえできない状態でも、彼は前進したのでした。

神よ、あなたをほめたたえます！

そして、ついにチタンポに着いてまもなくの1873年、
5月1日のこと…

シーツ！スシ！
先生は祈っておられる！

いや、チュマ。
先生は亡くなられたのだ。

神は、リヴィングストンがひざまずいて祈っている時に
取り去られたのでした。

ふたり忠実なしもべたちは、
原住民の死についての
迷信のせいで、自分たちの
命を危険にさらしながらも、
リヴィングストンの体に
防腐処理をし、彼の日記や
医療品といっしょに、海まで
2,500キロもの道のりを
運びました。そして、彼の
なきがらは船でイギリスに
送り返されたのでした。

そういうわけで、19世紀で最も偉大だった人物の一人、デイヴィッド・リヴィングストンは、ロンドンの有名な教会 ウエストミンスター寺院に埋葬されました。彼のお葬式は、ロンドンで執り行われた中でも最も盛大なお葬式の一つとなりました。

リヴィングストンの墓石には、こう刻まれています——
「彼は30年間、不屈の努力によって、アフリカ原住民に福音を説き、中央アフリカの秘境地を探検調査した。」



けれども、何より大切なことは、彼が何千人の人々にイエスについて教えたこと、また、宣教師として人生をささげるようになると、大勢の若者たちの心を奮い立たせたことです。



宣教師になるということには、特別な何かがある！最初の
宣教師が畠に足をふみ入れるのを見た時、明けの星々は
いっせいに歌い、神の息子たちは喜びの声をあげた。その方の
前では、天使たちがベールで顔をおおう。偉大でおそれ多き神には、
一人のみ子しかおられなかった。そしてそのみ子は、地上に宣教師の
医師としてつかわされた。彼は、人間の中にかつて姿を現された
偉大な教師、またただ一人の模範宣教師だったが、今この方は
すべてのものの頭であり、王の中の王であり、主の中の主で
あられる。たとえ弱くとも、そのような方にならってその従者となるのは、特別なことである。宣教師がこの方から与えられている
任務に匹敵するものがいるだろうか？私が考える限り、神が
私にそのような職務を任命されたことを思うと、私の喜びは
決してつきることがない。³

³「宣教師の犠牲」について書かれた新聞記事からの抜粋



リヴィングストンが 来る 前は、クルマンより
きた ちゅうおう み かい ち
北の 中央アフリカは 未開の 地でした。
リヴィングストンが アフリカで 費やした
ねん あいだ かれ たび
30年の 間、彼は 46,671キロを 旅しました。
また、1,609,344キロの 道のりを
たいりく ち ず しる
アフリカ大陸の 地図に 記しました。
かれ みずうみ おお
彼は 6つの 湖と 多くの
おお かわ はっけん
大きな 川を 発見しました。
せ かいさいだい たき ひと
それには、世界最大の 滝の 一つ、
たき ふく
ヴィクトリアの滝も 含まれます。また
かれ たいりく かたほう かいがん
彼は、アフリカ大陸の 片方の 海岸から
はんたいがわ かいがん おうだん
反対側の 海岸まで アフリカ横断を
さいしょ じん
した 最初の ヨーロッパ人です。